

事業所名 児童デイサービス ぼっけ

支援プログラム

作成日 令和6年 10月 1日

法人（事業所）理念		”子どもたちが創造してポケットに詰め込んだ夢や希望をいつでも取り出せるように”を実現する		
支援方針		<ul style="list-style-type: none"> 一人ひとりの個性を大切にし、子ども達がのびのびと楽しく過ごし、安心して過ごせる居場所を提供します。 子ども達が自ら喜びや達成感を味わい、楽しく活動に取り組みながら成功体験を増やし、自己肯定感を育みます。 友達や支援者と関わりながら、コミュニケーションを楽しんだり、イベントや個別活動を通して、子ども達の得意なことを沢山見つけていきます。 		
営業時間		9時 30分から 18時 00分まで	送迎実施の有無	あり なし
支 援 内 容				
本人支援	健康・生活	<ul style="list-style-type: none"> 毎回の体温測定等、健康管理と必要な対応を行います。 1日の流れやバンドの説明などは、個別のスケジュールリングを実施し視覚支援を用いるなど、分かりやすい方法で伝え、不安なく過ごすことが出来るよう支援します。 		
	運動・感覚	<ul style="list-style-type: none"> 専門職（理学療法士、作業療法士）の指導のもと、粗大運動や微細運動を通して基本的な動作の向上を目指します。 ダンスレッスンやキッズヨガを療育に取り入れたり、体育館を利用し全身を使った運動を通して運動能力を高めます。 感覚過敏な子ども達に配慮した環境設定や、感覚の特性に合わせた支援を行います。 		
	認知・行動	<ul style="list-style-type: none"> 色や数、シール貼り、手先を使うあそび、時計を読むなど、日常生活機能を高める取り組みを行います。 絵カードや実物や写真など視覚的な支援（スケジュール提示）や50音表、時計やタイムタイマーを使用した支援を行い、子ども達に事前予告や1日の流れを伝えます。 季節の変化を感じられるような外出レクリエーションを行い、子ども達の興味関心を広げていきます。 		
	言語 コミュニケーション	<ul style="list-style-type: none"> 朝の会や帰りの会を通して、自己紹介をしたり、活動の振り返りと自分の思いを発表する場を作り、相手に自分の気持ちを伝える支援を行います。 自分で選択する機会を作り、支援者が間に入りながら、活動を通して他者とのやり取りが経験出来る場を提供します。 個別療育や小集団での療育を通して個々の発達に合った、コミュニケーション手段の獲得を支援します。 		
	人間関係 社会性	<ul style="list-style-type: none"> ソーシャルスキルトレーニングを通して、ルールや順番を守りながら他者と楽しい時間を過ごせるよう支援します。 施設見学、買い物体験など社会の仕組みや様子を肌で感じることで社会性を高め、自立への可能性を広げていきます。 他者との適切な距離感を保てるよう声かけを行い、良好な関係を気付けるよう支援します。 		
家族支援	送迎時の会話など随時情報共有を行い、必要に応じて面談や参観する場を設け、家族の不安や困り事への相談援助を行います。	移行支援	学校や関連の医療・福祉施設と情報交換や担当者会議を行い、包括的な支援を行えるよう環境づくりを行います。	
地域支援・地域連携	イベントの参加や公共施設（公園等）の活用を通して、地域との交流する機会を提供します。また、地域生活に関する保健・医療・福祉・教育等の関係機関、障害福祉サービス事業所等との連携を行います。	職員の質の向上	事業所内研修（虐待防止研修、身体拘束に関する研修等）や外部講師による研修など、積極的に受講しスキルアップを目指しています。また、障害理解に繋がる資格取得にも努めています。	
主な行事等	<ul style="list-style-type: none"> 季節に関するイベント：花見・あじさい見学・夏祭り・川遊び・ハロウィン・クリスマス等 食育に関するイベント：月1回クッキング・果物狩り・ヤマメ釣り 学習に関するイベント：買い物体験、工場見学・動物園・水族館 音楽に関するイベント：コンサート鑑賞等 その他：親子ふれあい会等 			